

音楽を通じて、小児がんについての理解と地域社会とのつながりを深め、
がんと闘う子どもたち・家族の未来が輝くことを願って



一般社団法人
旭くん光のプロジェクト

第2回

全国小児がんチャリティーコンサート in 福岡

西村由紀江

西村由紀江 (作曲家・ピアニスト)

日本を代表するピアニストであり、作曲家としても多くの作品を世に送り出しています。3歳でピアノを始め、小学生時代からヤマハジュニアオリジナルコンサート(JOC)に参加し世界各国を演奏旅行。マエストロや一流オーケストラとも共演し絶賛を博しています。美しいメロディーと繊細な表現力が特徴で、聴く人々の心に深い感動を与えます。1980年代から活動を続け、数多くのアルバムをリリース。「101回目のプロポーズ」「子ぎつねヘレン」などドラマ・映画CMでもその才能を発揮しています。また、音楽教育にも力を入れており、若い音楽家の育成にも貢献、多くのファンに愛され続ける彼女の演奏は、常に新たな感動を生み出します。

2025年 6月8日 (日)

開場 13:00 開演 13:30

福岡県 福岡市 福岡銀行FFGホール

一般 3,500円 学生 2,500円

上記金額には、チャリティー充当分として
一般1,000円 学生500円が含まれています

チケットのお求めは
以下のチケットオンラインサイト
または で購入できます
<https://eplus.jp/>
<https://fahome-livezaiko.io/e/HPJCT2025>

一般社団法人「旭くん光のプロジェクト」が企画するチャリティーコンサート。
今回は、感性豊かな演奏と作曲で多くの人々に感動を与えるピアニスト 西村由紀江さんをお招きし、少年作曲家、加藤旭のやさしく躍動感あふれる作品を始め、福岡にゆかりのある楽曲や北九州市立日明小学校カンパニーとの合唱、フルート奏者の山田明子さんとのコラボレーションをお届けいたします。コンサートの収益は、NPO法人 日本小児がん研究グループ・認定NPO法人にこスマ九州へ寄付させていただきます。

このコンサートは、小児がんの子どもたちが元気に回復し、ご本人もご家族もずっと安心して過ごしていけることを願い、開催いたします。

「小児がん」とは子どもがかかるがんの総称です。「白血病」や「脳腫瘍」など、大人もかかるがんもあれば、「神経芽腫」など子どもに特有のがんもあります。

その種類は多岐にわたり、年間約2,500人の子どもたちが新たに小児がんと診断されています。長期入院での治療が必要となることが多く、残念ながら小児がんは子どもの病死原因の1位です。しかし、近年小児がん治療は大きく進歩してきました。

新しい治療方法をオールジャパンで研究しているのが、全国の小児がん専門医で組織している、NPO法人 日本小児がん研究グループ(JCCG)です。ただ、活動資金は潤沢ではありません。また、治療後も長い未来を生きる子どもたちには、幅広く、長期的なサポートが必要です。

皆様のご理解とご協力が、小児がんの子どもたちとご家族の支援につながります。

主催：一般社団法人 旭くん光のプロジェクト ・ 全国小児がんチャリティーコンサート in 福岡 実行委員会

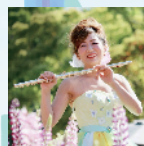
共催：認定NPO法人 にこスマ九州

協力：NPO法人 日本小児がん研究グループ (JCCG)

後援：福岡県 ・ 福岡県教育委員会



北九州市立日明小学校合唱カンパニー
のスペシャル合唱団が
加藤旭の「くじらぐも」をはじめ
LIVE EMPOWER CHILDRENのテーマ
「My Hero～奇跡の唄～」を披露します



九州を拠点にソロでの演奏活動とフルート音楽の普及と発展に貢献されている山田明子さんと西村由紀江さんのデュオ演奏も予定します

小児がん経験者のための支援団体
 にこスマ九州

HP: <http://asahi-hikari-pj.com/fukuoka2025/>
お問い合わせ: fukuoka2025@asahi-hikari-pj.com



加藤旭(かとう あさひ)くんは、1999年に滋賀県で生まれ、神奈川県で育ちました。ピアノを始めた3歳のころから画用紙に5本の線や音符を描くことが好きで、4歳になると楽譜に曲を書き始めます。彼の中で自然に音楽が湧き、メロディーを五線譜に記すことが楽しかったそうで、お絵描きや日記のように曲をつづりました。6歳の時に東京交響楽団の「こども定期演奏会」のテーマ曲に作品が採用され、7歳では小学校の先生に頼まれ合唱曲「くじらぐも」を作詞・作曲します。小田原ジュニア弦楽合奏団にチェロ奏者として入団し、9歳で再び東京交響楽団のテーマ曲に作品が採用されるなど音楽の才能を発揮しました。

13歳の時に脳腫瘍を発症。視力を失うなどの苦難の中で多くの方の支えられていることを実感し、「自分も誰かの役に立てたら」と考えるように。妹に「お兄ちゃんには曲がある」と励まされ、2015年に幼少期のピアノ作品を収録したCD「光のこうしん」を発表。みずみずしいメロディーが好評を博し、「くじらぐも」の合唱譜、2枚目のCD「光のみずうみ」、その後3枚目となる「A ray of light 一筋の希望」もリリースされました。

2016年、16歳でこの世を去りましたが、彼の音楽への思いは人々に感動を与え、その楽曲がこのチャリティーコンサートや国際小児がん学会等で演奏されるなど遺志は生き続けています

出演者紹介



山田 明子 (フルート)

福岡県久留米市出身。福岡女学院高等学校音楽科卒業。国立音楽大学音楽学部器楽学科フルート卒業。平成25年度久留米市芸術奨励賞受賞。インターナショナル・フリードリヒ・クーラウ協会 (IFKS) 理事。

現在九州を拠点にソロで演奏活動、ならびに後進の指導を行っている。

2023年1月1stアルバム『Invigorating Classics』リリース。2025年3月2ndアルバム『Invigorating Classics II』リリース。



北九州市日明小学校合唱カンパニー

北九州市立日明小学校合唱カンパニーは、歌が大好きな3年生から6年生の児童が所属しています。令和4年度から3年連続で全日本合唱コンクール全国大会へ出場し優秀な成績を上げており、地域イベントでも活躍する合唱団です。

顧問の竹永亮太先生はALSを抱えながらも指導を続け、子どもたちは心を込めた歌声で人々に感動を届けています。

2024年には、彼らの実話をもとにした書籍『とびたて! みんなのドラゴン』が出版されました。「声を重ねて、心を届ける」——日明小合唱部は、歌の力で未来へ羽ばたいています。

小児がん経験者のための支援団体 にこすま九州



ホームページ <https://nicosuma.net>

小児がんは治療の進歩によって大部分が治る病気となり、たくさん子ども達が学校や社会へ復帰しています。厳しいがん治療を乗り越えた子ども達は人の気持ちや痛みがわかる人として成長し、前向きな強い使命感を持って社会で活躍しています。その一方で、治療後の晩期合併症や再発などの健康状態に対する悩みが絶えないのも事実です。治療中・治療後の子ども達と社会で生活している小児がん経験者には共通する体験や不安がたくさんあります。それをお互いに語り合い仲間を作ることは、子ども達にとって大切な経験になります。

にこすま九州はこのような小児がん経験者を支援する団体です。運営は小児がん経験者を中心に医師、看護師、臨床心理士などのスタッフが共に行っています。2009年に有志が集まり活動を始め、皆様のご支援のおかげで2012年にはNPO法人になりました。また活動を継続的なものにするため、寄付いただいた方、会員の方が税制控除を受けることができる「認定NPO法人」を2016年6月に取得しました。

小児がん経験者のための交流キャンプやお話し会、家族の集いなどの交流イベントや小児がんの啓発活動としてチャリティーカレンダーの発行やレモネードスタンドなどを開催しています。

レモネードスタンド OPEN! 6月8日(日) 10時~12時

小児がんの啓発活動として全国に行われているレモネードスタンドをふくぎん本店広場に行きます。レモネードを飲んで小児がんの子ども達を応援しよう!

